

令和6年度 第4回 学校運営協議会会議録

学校名	杉森中学校
記録者	狩野 俊

開催日時	令和6年7月3日(水)16:00~17:30
開催場所	杉並第一小学校 図書室
出席者(委員)	佐々木校長、濱田副校長、村上職務代理、小川委員、朝枝委員 佐久間委員、福島委員、三箇山委員、西野委員 杉一小学校 CS 委員 馬橋小学校 CS 委員
出席者	杉並区教育委員会学校支援課 中曽根課長
傍聴者人数	0名

会議内容(次第順)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 午後1時30分より、杉森中、杉一小、馬橋小の先生方による「小中一貫教育研究会」(杉一小の研究授業、3校教師による研究会等を参観した後、3校CSの合同会を開催した。) ○ 各校委員 自己紹介 ○ 研究授業について 意見交換
主な意見
<p>(杉並区CSアンケートについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区教委 地域がどうやって学校にかかわっていくのか。今回、全校のCS委員637名にアンケートをして、今後の方向性を探った。 ・杉一委員 自由記述欄にネガティブな意見も掲示していて「すごいな」と思った。自分が関わっている学校のヒントになればと思い読んだ。 <p>(6年生対象の杉一授業「社会にプラス」について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉一校長 働き方改革の一環で、午前中で子供たちを返し、午後に教員の会議をし、その裏で地域の方に講座を催して頂いている。 ・馬橋校長 杉並区はある程度各学校に裁量権を持たせている自治体。お隣の学校でやっている良い事に学ばされている。馬橋小も運動会は、体育の延長ではなく、非日常を経験できる場として、応援団などが声出しながらやった。 ・馬橋委員 今日の授業を見て「すごいやっつな」と思った。馬橋小でも、同窓会が、学校が出来る前からある山桜を知ってもらって授業をやっている。今後の参考にしたい。 ・杉森委員 講師の先生にはうちの2人の子供が共に教わった。幅広い知識で、野鳥、歴史、公民に詳しい。先日杉森中のCSで「時事問題は学校でどう教えているのか」という質問があった。時事問題は授業で取り上げるのは難しいので、こういう形ならいいのかもと思った。 ・杉森委員 内容はもとより、講師の先生を発掘したことがすごい。 ・杉一委員 杉並区はさまざまな宝を持っている。多くの遺跡があり、善福寺川沿いは野鳥観察もできる。そんな宝はまさに教育の宝。今日の講師の先生はわたしの大事な宝。生徒の目線を持っている方。 ・区教委 杉並にはおよそ60の小中学校に250名ほどのコーディネーターがいる。1校あたりおよそ4名。教育委員会に、支援本部から推薦され、初任者研修を受け。学校教育の組

- み立てを学び、さらに支援を受けながら、やりながら学んでいく。
- ・杉森委員 アンケートはとても興味深く読ませてもらった、去年に続いて、合同CSは二回目。来年は馬橋小での開催となる。馬橋の会長は積極的な方なので、今から楽しみ。社会に出て初めて、学校教育が腑に落ちた経験もたくさんあると思う。地域の「社会にプラス」ではないが、CSは学校に、子供達にどうプラスをつけることができるのか。
- ・馬橋校長 先日、P協のメンバーと話をしたときに、性教育をどう学校で教えていくのか、という話になった。こういう事柄や、国際状況に関する話。今で言えばガザの現状、イスラエルとパレスチナのことなど、多様な見方、考え方が出来る問題は、学校教育の場では、なかなか取り上げにくい。公教育の限界ともいえる。CSの存在というのは、こういう多様さに対応できる可能性、とも言えるのかもしれない。先程馬橋の会長が仰った、馬橋小の山桜は「平和の山桜」と捉えている。陸軍の施設があった頃から山桜はあり、悲惨な戦争を起こさない、という話とともに生徒には伝えている。
- ・杉森校長 コロナ禍はCSを開くことも困難で、委員との交流が途絶えたこともあった。杉森中では、2年前から、CS委員をコミ担としてクラスごとに担当してもらい、身近な大人と感じてもらえるよう試みている。「働くってどんなこと」というテーマで昨年度1学年の生徒の前で話をしてもらった。
- ・杉一校長 学校の中で地域の人がいるのが当たり前、というのが杉一小。火曜、金曜の朝先生。読書、百人一首、季節の話など、大人と接する機会も多い。学校経営上でも地域のアンテナを張り巡らせているのは安心。コロナ前の状況に全てを戻すのがいいのかは、今後の課題だが、他校の4割程度の校庭しかない本校で、学校行事は一体感を出しやっている。
- ・杉一委員 朝先生は、保護者の視点で見て、大変助かっている。朝先生が生徒を見ていてくれる時間に、先生方は打合せができる。また朝先生の視点で、生徒の様子を拾ってくれ「こういうことあったよ」「あの子元気なかった」など先生とは違った視点で見られるのも安心。
- ・杉一委員 朝先生も以前は15分間プリントをやるだけだった。やっていくうちに子供の様子が見えてきて、ミーティングの時に先生に様子を伝えるなど、その辺から朝先生の役割が変わってきた。今年で17年になるが、運動会の応援の時に、生徒の名前を呼んで応援できるというのは、すごいことだと思う。
- ・区教委 今回の話を伺いながら、杉並には大変な財産があると感じている。この地域、地域の人たちのお陰で、学校という仕組みでは難しい、様々な経験を生徒は出来ている。学校支援課は、重たい物を背負ったような大変な気持ちと、それと同じくらいの安心感をもてた。
- ・杉森委員 今日はありがとうございました。今回、改めて皆様方の顔を拝見し、お互いを知ることが、実のあることに繋がっていくのだなと感じました。次回、馬橋小、再びお会いできること、今から楽しみにしております。
- ・馬橋委員 今回は会場をお借りして、本当にありがとうございました。杉一小には、私の友人の父親の絵がかけられている、思い出深い場でもあります。有意義な話合いができ、本当に充実した時間でした。次回は、私たちがみなさまをお待ちする番になります。準備万端で臨みたいと思っております。

次回の会議日程

日時	令和6年8月26日(月)13時半から
会場	杉森中学校 北校舎3階 被服室